

○各校区の主な提案内容

校 区	主な提案内容
池 田	街路灯の設置、自主防災組織の設立、コミュニティー紙の発行など
細 河	小学校校庭一部の芝生化、街路灯のブルーライト化など
秦 野	交通安全看板の設置、小学校南壁面にギャラリー設置など
北豊島	コミュニティー紙の発行、旧北豊島公民館の改修、花いっぱい運動など
呉 服	防犯灯の設置、校区盆踊りの開催など
石 橋	国道171号～池田高校間にグリーンベルト帯を設置、掲示板の設置など
五月丘	街路灯の設置、山桜通りにベンチを設置、塩塚公園に時計設置など
石橋南	街路灯の設置、防犯カメラの設置など
緑 丘	掲示板の設置、防災関連器具（AEDやエンジン式発電機）の充実など
神 田	街路灯の設置、安全パトロール用の電動自転車の購入など
伏尾台	防災倉庫の設置、青色パトロールの実施、サクラの植樹など

池田発、日本初の地域分権
地域課題の解決に向けて
いよいよ具体的な予算提案へ

「自分たちのまちは自分たちでつくろう」を合言葉に、皆さんが自主的・自立的にまちづくりを行うことで、地域内の共通課題の解決を図り、市との協働でまちづくりを進めていくこととする「地域分権」。その実現のため設立された、各校区別の「地域コミュニティ推進協議会」で議論が重ねられた結果、各地域から具体的な予算提案がこのほど出されました。

推進協議会で慎重に議論

「地域コミュニティ推進協議会」では、地域内の共通課題の解決に向け、テーマごとに分科会（部会）を設けたり、実際に自分たちの校区を歩いて課題を抽出（フィールドワーク）したりするなど、さまざまな手法で議論してきました。

いずれの協議会も、1～2週間に1回以上のペースで開催。議論を重ねる中で、「これは予算提案するのではなく、今まで通り市へ要望する事項にしよう」「すべての事業を提案するのではなく、もっと絞り込むべきではないか」などと活発な意見が出されました。中には「協議会に入っていない方にも参加

してもらおう」と、傍聴の呼び掛けを行った地域もあります。

これが地域の課題です

各協議会の会長が集まり、各地域からの提案内容などについて説明してもらった会議が12月5日に市役所で開催されました。倉田市長をはじめ、サポーター職員も同席する中、「どのように進めるか検討し、部会をつくりました。そのため多くの意見も出されましたが、それぞれの意識も高まったと思います」といった、意見をまとめるまでの苦労話などもされ、市長は「地域に必要なものを洗い出し、全校区からご提案いただき、ありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。

提案内容については、今後市で審査し、事業を行う担当課で予算案を



作成、3月の市議会で審議されます。提案事業の詳細については、改めて本誌でお知らせする予定です。

問い合わせは政策推進課（☎754・6213）

落語みゅーじあむ寄席特別企画

落語家・桂三枝さん
&
作家・藤本義一さん
対談と落語会



とき＝1月30日(水)午後1時30分～4時
ところ＝落語みゅーじあむ
内容＝「落語文化を語る」をテーマに、桂三枝さんと藤本義一さんが対談。桂三段さん、桂三幸さんによる落語会も
定員＝120人
費用＝2,000円（前売り1,500円）
問い合わせ＝同館（☎753・4440）
※チケットは1月5日(土)午前11時から同館で発売します。



池田市とローンセストン市が姉妹

ペンフレンドがきっかけで

昨年11月、姉妹都市のオーストラリア・ローンセストン市から五月山動物園に新たに寄贈された2頭のウオンバット。皆さんはもうご覧になりましたか。この日本で一番小さな動物園にはカンガルウ科のワラビーもいます。これも同じくローンセストン市から贈られたもので、ウオンバットとともに、動物園を訪れる子どもたちの人気者となっています。

姉妹都市からの贈り物

都市提携をめぐって

わがまち
歴史散歩

市史編纂だより 36

都市提携を締結したのは昭和40年(1965)11月1日。市内の高校生が、ラジオの英会話を通じてローンセストン市の女子学生と始めた文通が、そのきっかけとなったことをご存じの方も多いと思います。今や1500を超す日本の都市が、海外との姉妹都市提携を結んでいます。当時はまだ80都市ほどしかなかった時代でした。その大半はアメリカで、現在は100件以上もあるオーストラリアの都市との提携は、奈良県の大和高田市に次いで2番目のことでした。

また、昭和56年(1981)6月6日には、クレハトリ・アヤハトリの機織り伝承とゆかりのある中国・蘇州市と、市民交流による友好促進の機運が盛り上がり、友好都市締結を行いました。

ほかにも候補都市が

日本と海外との最初の姉妹都市提携は、昭和30年(1955)の長崎市とアメリカ・セントポール市でした。戦後復興が一段落して、国際交流に目を向けるゆとりが出てきたのでしょうか。

本市でも、ほどこなく海外との都市提携をめざす動きが始まったようです。昭和36年、カナダ・ウイニペグ市に姉妹都市の申し込み予定との記事が、新聞に登場します。38年には、PRのためアメリカのサンマテオ市へ

池田市紹介資料を送り、アメリカ領事のアイセントンさんが池田市役所を訪れます。しかし、ともに実現には至りませんでした。翌39年には、アメリカ・ロサンゼルス市やオークランド市へも紹介資料を送ります。同年6月、前述の高校生からローンセストン市との姉妹都市提携に協力してほしいとの申し出があり、両市の活発な人的交流などにより話が進展、同市との都市提携が実現しました。

なぜ姉妹都市、友好都市

姉妹都市というのは、アメリカ英語のSister Cityに由来するもので、イギリス英語ではTwin Cityというなど、各国語でさまざまな表現が使われているようです。どちらが姉でどちらが妹か、という話になってはいけないということから、姉妹都市ではなく友好都市という呼び方をすることもあります。問い合わせは社会教育課市史編纂(☎753・2904)

◎おわびと訂正

本誌10月1日号の本コーナーで、金庫の課税方法について、「1立方尺(約30立方センチ)」とあるのは「1立方尺(約30立方センチ)」の誤りでした。おわびして訂正します。

ギャラリーコーナー

【ギャラリーいけだ】

- 前田勘治展(油絵とわたし) 1/9(水)~14(祝)
- 奥田美紀陶芸展 1/16(水)~21(月)
- 秦井直太郎個展 1/23(水)~28(月)
- 第2回「京友禅の心・鹿取雲展」 1/30(水)~2/4(月)

【ギャラリーVEGA】

- 手ぬぐい百年展—浮田光治コレクション—(特別展タオル木版型) 1/9(水)~21(月)
- 第2回水墨画・ひろむ会展 1/23(水)~28(月)
- 第9回京都市きもの絵師とその仲間達展 1/30(水)~2/4(月)

【開館時間】 10:00~19:00 (手ぬぐい百年展とひろむ会展は10:00~18:00。最終日は16:00まで)

【休館日】 ~1/8(火)、火曜日

【入館料】 無料

【使用料】

ギャラリーいけだ 5万円(展示販売不可)
ギャラリーVEGA 15万円(ブロックの分割使用=7・10万円=、展示販売も可)

【使用期間】 水~翌週月曜日の6日間

【申し込み】 使用希望月の1年前から

使用申し込みは
（財）いけだ市民文化振興財団
(☎750・3333)